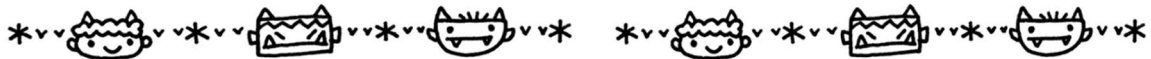


# 2月 ゆいぐみたより

社会福祉法人尚徳福祉会  
おぐら保育園

冷たい風の吹く中、少しずつ陽射が明るくなったようで、春が待ち遠しいこの頃です。子どもたちは毎日外に出て寒さもへっちゃらで遊んでいます。お正月明けは凧あげやすごろくを楽しみました。すごろくはその後もゆり組の定番の遊びになっています。発表会の練習も一生懸命に取り組み、自分たちでの自主する練習のすがたも多くみられ、楽器の音やセリフ、歌が毎日聞こえています。



## 張り子のお面制作

風船の上にちぎった紙を糊で丁寧に貼っていく工程を3回繰り返しました。3回目はもう手慣れたものでサクサクときれいに貼っていました。できた丸い形を見て「恐竜の卵みたい」と大喜び。乾くのを待って中の風船を割って半分にし、目をくりぬき、毛糸や画用紙で髪の毛や顔を作りました。髪の毛をカラフルにしたり、三つ編みにしたり、個性豊かな鬼のお面が出来上がりました。残り半分は持ち帰ります。お家でも作ってみて下さいね。



## たこ揚げ

凧に好きな絵を描き、園庭で揚げました。初めは風がなく、猛ダッシュすると何とか凧が揚りました。友達の糸とからまったり、木に引っかかったりしながらももっと揚げたいと糸を短くしてみたり場所を変えたり。風が吹くと「今だ〜」とチャンスを見逃さず走り出すと長く揚がって満足そうでした。

**発表会** 劇ではみんなで丸くなって台本読みからスタート。初めは照れもあり小さな声や棒読み、自分の番が来てもわからず、シーンとなったりして時間がかかっていましたが、毎日続けていくうちに一人また一人「もう、台本なくても覚えて〜」となり、ついに他の役のセリフも覚えていました。そのあと、振り付けや動きながらのセリフでは恥ずかしくなったり声が出なかったり、自分の出番がわからなくなったりと一苦労。でも何度も練習を重ね、意識が高まり「上手にやりたい」と友達同士や同じ役同士で練習していました。楽器も口での譜読みから始まりコツコツ練習してきました。できないところを何度も繰り返し練習し、できるようになった友達に教えてもらったり、同じパートと一緒に合わせたりしながら頑張っています。時にはうまくできずに悔しい思いをすることもりましたができた時の喜び、友だちと作り上げていくことの喜びと楽しさや気持ちよさを感じて意欲をもって取り組む姿が見られます。一人だけではできない劇、合奏、歌。ゆり組全員のパワーで頑張ります。

